

令和3年度 有脇小学校 教育目標

(1) 本校の教育目標

【 校 訓 】

楽しく・正しく・美しく

【 めざす児童像 】

- 何に対しても楽しむことができる児童
- きまりやマナーを守り、正しく行動する児童
- 周りのことを考えられる美しい心をもつ児童

【 児童と職員が意識するスローガン 】

一生懸命はかっこええ

(2) 経営方針

ア 小規模校の特性を生かす

- 一人一人を徹底的に大切にしたい指導をめざす。→一方的な指導は信頼を失う。
- 報告・連絡・相談を密にし、チームで児童を育てる。→職員みんなが知っている。
- 命の大切さを常に語っていく。→いじめ撲滅。人権無視は絶対に許さない。

イ 教員としての資質や能力の向上

- 自信と責任をもって授業に臨む。→確かな準備と強い意思をもって授業に臨む。
- 計画と反省を常に行う。→児童には再チャレンジの機会はない。日案の有効利用。
- 児童とつくりあげる分かる授業を実現させる。→ 「分かれば楽しい」である。

ウ 保護者や地域の方々から信頼される学校づくり

- 学校運営協議会との連携を密にした教育を実践する。
→学校外の意見に耳を傾け積極的に改善を図る。
- 「学校応援団」の活動に感謝し、さらに効果的で活動しやすい環境をつくる。
→「コミュニティ・スクール」を常に意識する。

エ 多忙化解消に向けて

- 「半田市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」に則り、勤務時間を常に意識する。
→ワーク・ライフ・バランスの改善を図る。
- 定時退校日の設定や年次休暇の積極的な取得などを進める。また、学校安全衛生委員会を実施し、さまざまな活動の形態や内容を見直す。→休める環境の整備。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 「一生懸命はかっこええ」 様々な場面で児童にも職員にも意識させる。特に、「チャレンジする気持ち」を大切に、その過程の中で輝かせていく。

イ 「敏感でいる」 教員は常に敏感でなくてはならない。児童の悩みやいじめをはじめとして、教員が気付かなければ、児童は居場所をなくしてしまう。

ウ 「コロナ禍だからこそできること」 コロナ禍だからこそ感染症対策を万全にし、やり方を工夫し、地域や保護者に協力をいただいて慎重かつ大胆にさまざまな活動を実施していく。必要か必要でないかをしっかり見極めていく。